

平成30年度事業報告について

当法人は、スポーツ振興を図ることで魅力ある地域づくりを推進し、地域の人々に夢と楽しみを提供するため、プロサッカーチーム「モンテディオ山形」と連携しながら以下の事業を実施した。

サッカー関連

1 地域スポーツ活動の振興に関する事業

(1) サッカースクール事業

1月末のスクール生総数401名（昨年度同期：465名）

<モンテディオ山形サッカースクール天童>

対 象	キッズ(幼児年中、年長)・小学1～6年生 119名
活 動 日	4月～2月 週1回（各クラス年間37回） ・キッズ（年中児・年長児）～小学4年生 火曜日又は金曜日 ・小学5・6年生 木曜日
活動場所	◇スポーツ山形21石鳥居グラウンド ◇第一貨物教育センター体育館 ◇山形県総合運動公園第二運動広場

<モンテディオ山形サッカースクール米沢>

対 象	キッズ(年中・年長児)～小学4年生 20名
活 動 日	4月～2月 土曜日又は日曜日（年間37回）
活動場所	◇NECパーソナルコンピューターグラウンド ◇サクサ(株)米沢事業場体育館

<モンテディオ山形サッカースクール酒田>

対 象	小学1～6年生 34名
活 動 日	4月～12月 水曜日（年間30回）
活動場所	◇飯森山公園多目的グラウンド ◇国体記念体育館

<モンテディオ山形サッカースクール鶴岡>

対 象	小学1～6年生 29名
活 動 日	4月～12月 木曜日（年間30回）
活動場所	◇小真木原総合運動公園

＜モンテディオ山形サッカースクール新庄＞

対 象	小学1～4年生 9名
活 動 日	4月～12月 木曜日（年間30回）
活動場所	◇すぽーていあ ◇山形航空電子体育館

＜モンテディオ山形サッカースクール山形＞

対 象	キッズ(年中児・年長児)～小学3年生 31名
活 動 日	4月～12月 火曜日（年間30回）
活動場所	◇明正高校グラウンド

＜モンテディオ山形サッカースクールSクラス＞

対 象 等	スクール生の中から選抜した育成クラス ・Sクラス村山 U-8 小学1・2年生 18名 ・Sクラス村山 U-10 小学3・4年生 22名 ・Sクラス村山 U-12 小学5・6年生 20名 ・Sクラス庄内 U-12 小学5・6年生 30名		
活動場所	〈村山〉 ◇山形県総合運動公園 ◇スポーツ山形 21 石鳥居グラウンド 〈庄内〉 ◇TDKグラウンド ◇庄内町八幡スポーツ公園サッカー場		

＜出張型モンテサッカースクール＞

対 象 者	鈴川幼稚園児 26名	鈴川第二幼稚園児 12名	大宝幼稚園児 11名	浄徳幼稚園児 18名
実 施 日	水曜日（隔週）	木曜日（隔週）	金曜日（隔週）	火曜日（隔週）
場 所	鈴川幼稚園 （山形市）	鈴川第二幼稚園 （山形市）	大宝幼稚園 （鶴岡市）	浄徳幼稚園 （酒田市）

＜モンテディオ山形サッカースクール交流戦＞

近県サッカークラブのスクール生（小学3～6年生）の交流と技術の向上を目的にサッカースクール交流戦を開催した。

参加チーム	ベガルタ仙台サッカースクール、モンテディオ山形サッカースクール（天童・山形・米沢・新庄・酒田・鶴岡から参加）
実 施 日	7月27日（金） 午前：3・4年生の部、午後：5・6年生の部
会 場	スポーツ山形 21 石鳥居グラウンド



3・4年生チーム	普段は違うチームでもこの日は一緒にプレー
モンテディオ山形サッカースクール交流戦（7月27日）	

(2) 地域サッカー活動促進事業

① モンテディオ山形ふれあいフィールド

概要	地域貢献活動の一環として、幼稚園・保育園を対象に「身体を動かす喜び」「ボールと遊ぶ楽しさ」を体感してもらうため、アカデミーコーチを派遣しサッカーを中心としたスポーツ指導を実施（東北電力株式会社様協賛）
指導者	アカデミーコーチ
訪問回数	77回 17市町（昨年度同期 88回）
参加者	3,400名（昨年度同期 4,539名）

② ホームゲーム前サッカー教室

指導者	アカデミーコーチ
実施回数	5回（昨年度同期 8回）
参加者	約500名

③ 地域選手強化活動協力事業

山形県サッカー協会及び地区サッカー協会と連携して、各種強化育成事業（優秀選手育成事業）、各地協会トレセン活動、国体強化事業及び指導者研修等にアカデミーコーチを指導者として派遣



12/18 諏訪幼稚園(山形市)③



【12月20日、赤湯幼稚園】

ふれあいフィールド【12月18日、諏訪幼稚園】

2 ジュニア・スポーツの振興に関する事業

(1) ユースチームの活動（高校生年齢）

活動拠点	山形市、天童市 ◇スポーツ山形 21 石鳥居グラウンド ◇山形県総合運動公園第二運動広場	
指導者	監督 1 名 コーチ 3 名	
選手数	40 名	
練習回数	週 6 回	
大会実績	◇第 25 回東北クラブユース選手権大会 準優勝 ◇第 42 回日本クラブユース選手権大会 (U-18) グループリーグ敗退 ◇J F A プリンスリーグ U-18 東北 4 位 ◇山形県高円宮 U-18 サッカーリーグ 1 部 4 位 ◇第 26 回 J リーグユース選手権大会 2 回戦敗退	

＜モンテディオ山形サッカーフェステバル 2018＞

サッカーの試合等を通じて指導者間の交流を深め、研修の場とするとともに、ミニ国体に向けた強化を図ることを目的として、当協会主催でサッカーフェステバルを開催した。

参加チーム	2018 年日本サッカー協会に登録している高校生のチーム 13 チーム (長崎県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県、宮城県、岩手県、山形県)
実施日	8 月 5 日 (日) ～7 日 (火)
会場	山形県総合運動公園第二公園広場、スポーツ山形 21 石鳥居グラウンド、米沢市営人工芝サッカーフィールド ほか



第 42 回クラブユースサッカー選手権 U-18 大会

vs.浦和レッドダイヤモンズユース
【7 月 23 日、前橋フットボールセンター】

vs.北海道コンサドーレ札幌 U-18
【7 月 22 日、前橋フットボールセンター】

(2) ジュニアユースチームの活動（中学生年齢）

<ジュニアユース村山>

活動拠点	天童市 ◇スポーツ山形21石鳥居グラウンド ◇第一貨物教育センター体育館 ◇山形県総合運動公園第二運動広場	
指導者	監督 1 名 コーチ 2 名	
選手数	55 名	
練習回数	週 5 回	
大会実績	◇JFA プレミアカップ東北大会 ◇第 33 回日本クラブユースサッカー選手権大会山形県予選 同 ◇2018 高円宮杯 U15 みちのくリーグ（トップリーグ） ◇2018 高円宮杯 U15 山形県 1 部リーグ（南） ◇J リーグ U14 ポラリスリーグ B ◇U13 みちのくリーグ（南ブロック）	
	ベスト 4 準優勝 東北大会グループリーグ 敗退 第 6 位 第 4 位 第 6 位 第 2 位	



ジュニアユース村山

<ジュニアユース庄内>

活動拠点	鶴岡市、庄内町 ◇TDKグラウンド ◇ソニーセミコンダクタ山形アリーナ ◇板垣鉄工所パルアリーナ ◇羽黒高校室内練習場 ◇かんぼの郷酒田スワンドーム ◇庄内町八幡運動公園サッカー場	
指導者	監督1名、コーチ2名	
選手数	53名	
練習回数	週5回～6回	
大会実績	◇第31回山形県べにばな杯ジュニアユース大会 第2位 ◇第33回日本クラブユースサッカー選手権大会山形県予選 第5位 ◇ 同 東北大会 グループリーグ敗退 ◇全日本ユースU15 高円宮杯 東北大会 2回戦敗退 ◇2018 みちのくチャレンジリーグ南 第2位 ◇2018 高円宮杯U15 山形県1部リーグ 第2位 ◇JリーグU14 ポラリスリーグA 第2位 ◇U13 みちのくリーグ(南ブロック) 第8位	



ジュニアユース庄内

(3) ジュニアチームの活動（小学生年齢）

<ジュニア村山>

活動拠点	山形市、天童市 ◇スポーツ山形 21 石鳥居グラウンド ◇第一貨物教育センター体育館 ◇山形県総合運動公園第二運動広場	
指導者	監督1名、コーチ1名	
選手数	27名	
練習回数	週3～4回	
大会実績	◇天童市総合体育大会 U-10 優勝 ◇チビリンピック山形地区予選 優勝	



＜ジュニア庄内＞

活動拠点	鶴岡市・庄内町 ◇TDK庄内グラウンド ◇庄内町八幡スポーツ公園サッカー場 ◇板垣鉄工所パルアリーナ ◇かんぼの郷酒田スワンドーム ◇ソニーセミコンダクタ山形アリーナ
指 導 者	監督 1 名、コーチ 1 名
選 手 数	27 名
練習回数	週 4 回（火・金・土・日）
大会実績	◇JC カップ U-11 少年少女サッカー大会 山形県大会 優勝 ◇U-12 ジュニア杯山形県大会 第 3 位 ◇皆川スポーツ杯第 34 回鶴岡田川地区 サッカースポーツ少年団 4 年生大会 優勝 ◇山形県 U-10 ナカジマススポーツ杯サッカー大会 優勝 ◇JC カップ U-11 少年少女サッカー大会 東北地区予選大会 第 3 位 ◇JFA 第 42 回全日本 U-12 サッカー選手権大会山形県大会 優勝 ◇JFA 第 42 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 グループリーグ敗退



ジュニア庄内（JFA 第 42 回全日本 U-12 サッカー選手権大会）	
山形県大会決勝	全国大会

3 県民のスポーツ意識向上に資する事業

(1) 「夢クラス」の実施

小学校の総合的な学習授業にゲストティチャーとしてモンテディオ山形選手を派遣し、自分の体験を交えながら子どもたちと「夢」について語り合い、「夢」を持つことの素晴らしさや、「努力」することの大切さを培っていく授業を実施した。

なお、30年度は、日新製薬株式会社様から協賛をいただいて、夢クラス実施の際にホームゲームの来場招待券や文具をプレゼントした。

《開催実績》

月	市 町 村	学校数	対象人数
5	天童市、山形市、寒河江市、東根市、高畠町、白鷹町	8	5 3 3
6	高畠町、河北町、酒田市、天童市	4	3 2 9
7	尾花沢市、庄内町、鶴岡市、天童市	4	1 2 9
計	1 1 市町	1 6	9 9 1



夢クラス	
7月20日 天童市立荒谷小学校	6月29日 酒田市立南平田小学校

(2) 「市町村応援デー」の実施

ホームゲームにおいて県内全市町村の応援デー（12ゲーム）を設定し、チケット購入者に対し助成した。

- ・対象者 対象市町村に在住・在勤の方
- ・助成額 バックスタンド席（3,100円）を1,500円で購入できるよう助成

(3) 市町村“のぼり旗”の掲出

ホームゲーム開催時に県内全市町村の“のぼり旗”をスタジアムに掲出し市町村のPRを行った。

4 青少年の健全育成に資する事業

(1) ホームゲーム無料観戦券の配布

「モンテディオ山形」と連携し、J2リーグホームゲーム全試合において県内小中高生へ無料観戦券（10,510枚）を配布した。

(2) 「モンテディオ山形応援給食」食育推進事業（県教育委員会との共同企画）

「モンテディオ山形」と連携し、希望する小・中学校、高等学校等にモンテディオ山形マスコット「ディーオ」やコーチ等を派遣し、食育パンフレット等を活用しながら、食に関する指導を13校で実施した。

女子駅伝関連

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会並びに各種全国大会で山形県代表として、活躍できる選手の育成を目指している。

また、選手としての高い技術や経験を地域に還元し、地域の人との交流を通じてスポーツの普及を図るため、次のとおり普及指導を行った。

8月で田中幸選手が競技生活を引退したため、9月からは日本選手権の中距離で上位入賞の経歴をもつ職員が、普及指導を行った。

開催日	場 所	指 導 概 要
8月まで	あかねが丘等	山形城北高校外部コーチ
9月13日	天童市立第二中学校	「モンテディオ山形応援給食」食育推進事業の中での運動教室（ダイナミックストレッチ指導）
9月23日	天童市立千布小学校	校内マラソン大会アドバイザー・ゲストランナー
11月9日	米沢市立第七中学校	「モンテディオ山形応援給食」食育推進事業の中での運動教室（ダイナミックストレッチ指導）

第1・3水曜日	NDソフトスタジアム山形	健康づくりランニング教室コーチ
---------	--------------	-----------------

総合型地域スポーツクラブ関連

1 地域活動事業

山形県総合運動公園を会場として地域のスポーツ振興に寄与する活動を実施した。

教 室 名	開催回数	会員数
健康づくりランニング教室	20回	19名
MONTEキッズダンス教室	23回	12名
スポーツ吹矢教室	20回	10名
いきいき健康スポーツ教室	6回	13名

2 推進活動事業

モンテディオ山形のホームゲーム開始前に、キッズダンスのパフォーマンス披露の機会創出と、総合型クラブの認知度向上を目指し、「MONTEキッズダンス・ショー」を実施した。

開催日	7月21日（土） VS アルビレックス新潟戦
場 所	もんてらんど、ND ソフトスタジアム山形（キックオフ 1 時間前）
参加者数	6 クラブ、約 100 名

開催日	10月21日（日） VS アビスパ福岡戦
場 所	もんてらんど、ND ソフトスタジアム山形（キックオフ 1 時間前）
参加者数	5 クラブ、約 80 名



MONTE キッズダンス・ショー（10月21日）



スポーツ吹矢教室

3 スポーツ山形 2 1 石鳥居グラウンド運営事業

モンテディオ山形アカデミーの活動拠点及び総合型地域スポーツクラブ事業の活動施設として、日本スポーツ振興くじ助成金交付事業を活用し整備したスポーツ山形 2 1 石鳥居（人工芝）グラウンドの管理運営を行った。

なお、6月に遠藤商事株式会社様から御寄附いただいた強化支援金を活用し、アカデミー育成環境の整備、充実のため、当グラウンドの既存クラブハウス脇に「トレーニングルーム（兼）更衣室」（約 33 m²）の建築を進め、11月15日に引き渡しを受け利用を開始した。



スポーツ山形 2 1 石鳥居グラウンドトレーニングルーム兼更衣室



石鳥居グラウンド地図

スポーツコミッション事業関連

スポーツイベント・スポーツ合宿等の誘致やスポーツツーリズムの推進による交流の拡大を図ることで地域の活性化やスポーツの振興を目指す推進組織「山形県スポーツコミッション」を10月22日に設立し、本格的な活動を開始した。推進組織設立前までのプレ事業を含め次の事業を実施した。

(1) トライアル事業

県外からの誘致・受入れノウハウ蓄積のため、プレ事業として次の事業を実施した。

◇NTT東日本野球部地域貢献活動

実施期間	8月1日（水）～3日（金）
会場	荘内銀行・日新製薬スタジアムやまがた
事業概要	○県内高校生向けの野球教室 （3日間で計20校、延べ297名の生徒が参加） ○きらやか銀行との強化試合 〈協力〉NTT東日本野球部、きらやか銀行野球部、山形県野球連盟、山形県高校野球連盟



高校生へキャッチング指導



強化試合（NTT 東日本 VS. きらやか銀行）

(2) 山形県スポーツコミッション推進本部

山形県スポーツコミッションを設立するとともに、推進組織として推進本部を設置した。

日 時：平成 30 年 10 月 22 日（月）12：45～13：15

場 所：山形グランドホテル

委員名簿

役 職 名	職 名	氏 名
名誉会長	山形県知事	吉 村 美栄子
会 長	山形県観光文化スポーツ部長	武 田 啓 子
委 員	山形県体育協会理事長	武 田 浩 一
同 上	山形県レクリエーション協会会長	吉 村 和 武
同 上	山形県商工会議所連合会会長	清 野 伸 昭
同 上	山形県商工会連合会会長	小野木 覚
同 上	山形県観光物産協会会長	平 井 康 博

(3) 山形県スポーツコミッションキックオフミーティング～スポーツが地域を元気にする！～

日 時：平成 30 年 10 月 22 日（月）13：15～14：30

場 所：山形グランドホテル

記念講演 「スポーツを活かした地域の活性化とは」

講 師 一般財団法人日本スポーツコミッション 理事長 木 田 悟 氏

参 加 者 市町村、競技団体等 約 100 名

(4) ホームページ運用開始・相談窓口設置

県内のスポーツ施設、宿泊施設、スポーツイベント、観光情報等発信のためのホームページの公開、相談窓口開設（10 月 22 日）

ホームページでの施設紹介件数（平成 31 年 1 月末現在）

スポーツ施設 25 市町村 265 件

宿泊施設 155 件

(5) 研修会の開催

日 時：平成 31 年 1 月 29 日（火）14:00～16:00

場 所：山形県総合運動公園大会議室

講 演 ①「スポーツツーリズムによる地域の活性化について」

講師 順天堂大学先任准教授 工藤 康宏 氏

②「合宿誘致・スポーツイベント運営などの実践的アドバイス」

講師 (株)スポーツインダストリーマネージャー 酒川 聖 氏

参 加 者 会員（市町村、競技団体）等 約 50 名

その他の事業

1 地域活動支援事業

地域行政・団体等が主催する公益的イベント等に協賛し、プロサッカーチーム「モンテディオ山形」と連携し、チームの指導者・選手等を派遣するなど、地域振興等の取組みに対して積極的に貢献した。

2 スポーツを通じた福祉推進事業

「モンテディオ山形」ホームゲームを観戦し楽しんでもらうことを目的に、山形県母子寡婦福祉連合会を通じひとり親家庭を対象とした無料招待券（1,425 枚）を 3 月 30 日に寄贈するとともに、障がい者を対象とした無料招待（667 名）を行うなど、福祉事業との連携協力を図った。